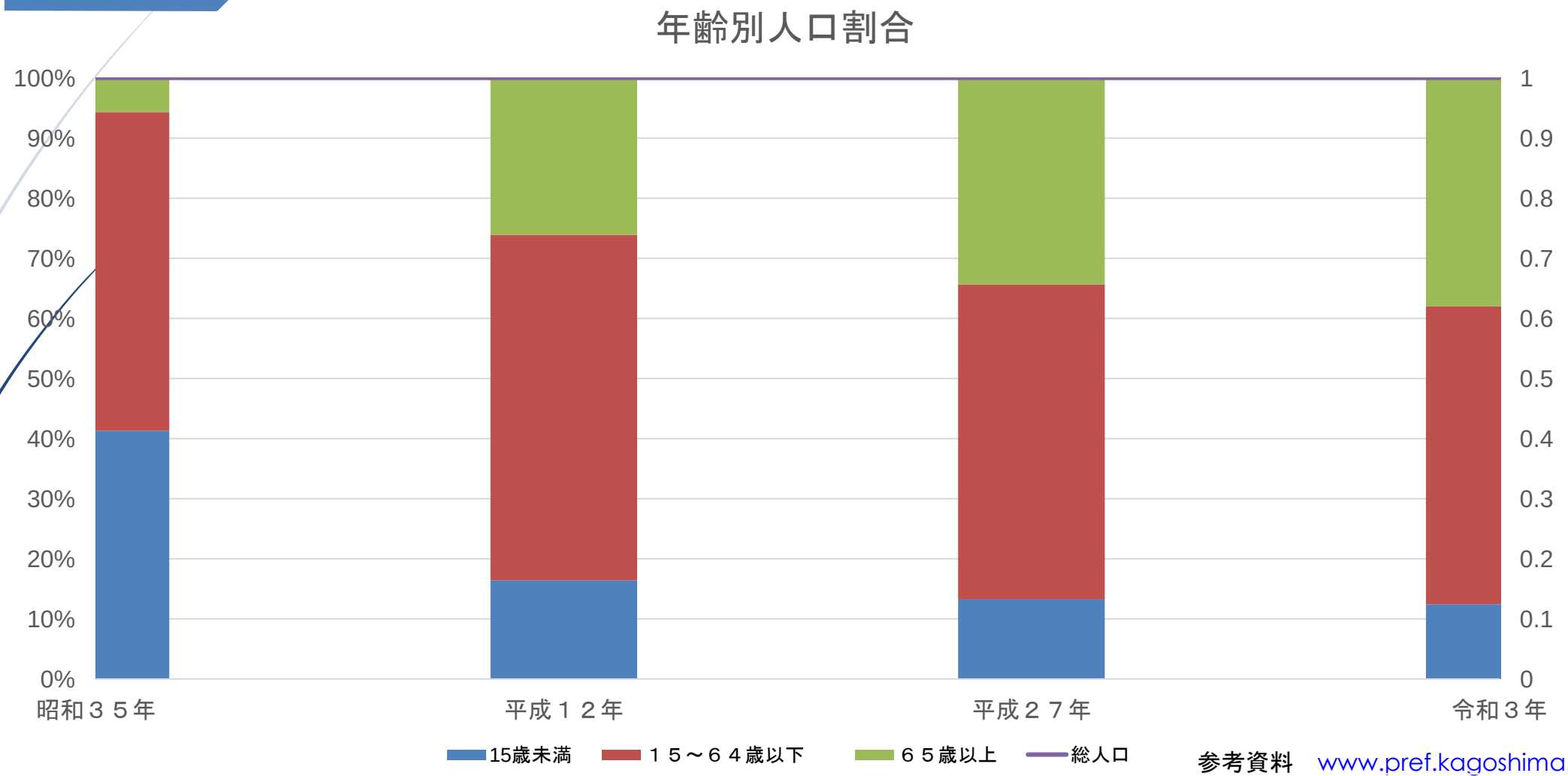
観光客が住みたくなる島へ

種子島高校１組　人口・移住班
スマートエコアイランド種子島シンポジウム
２０２１年３月１２日

メンバー
下村時朗　鎌田杏乃　和田花梨　清水花乃子　原田大輝

現状



参考資料　www.pref.kagoshima.jp

目標

働く世代を増やす!

(働く世代とは　15歳から４０歳のことだとする)

↓

観光客から移住者へ繋げる

西之表市の現在の対策

- 西之表市移住者定住支援補助金

西之表市の指定地域への移住、定住の促進や医療、介護職の企業などにおける人手不足の解消を目的にしている補助金

　１世帯につき１００万円の補助金

参考資料　iju-tanegashima.jp

種子島の移住者について

令和３年１１月２２日現在→５１名（３４世帯）

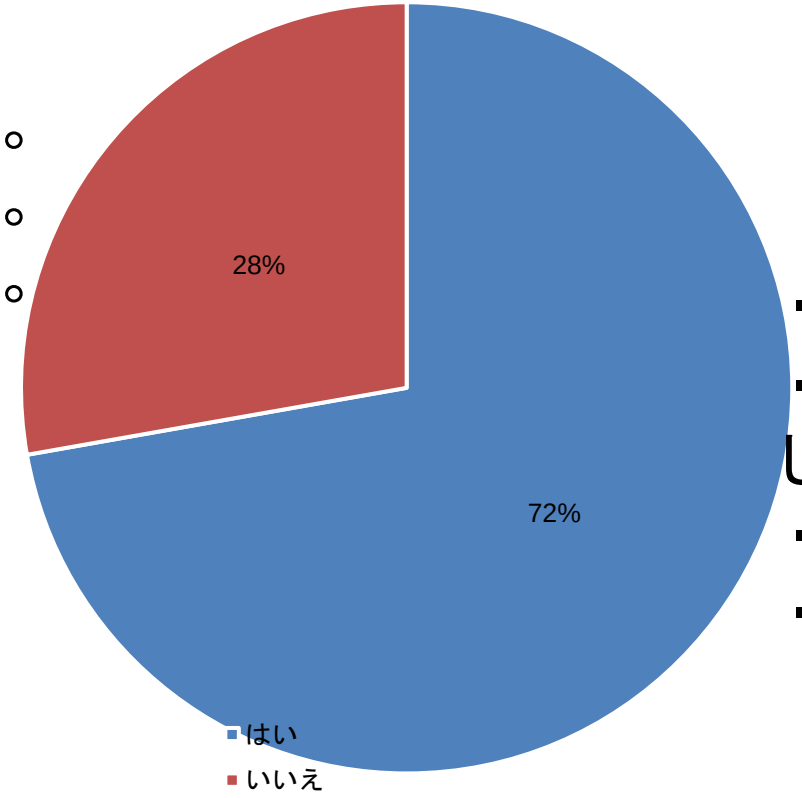
１０代　１名、２０代　８名、
３０代　１０名、４０代　４名
５０代　１名、７０代　１名　Uターン　８名
（地域支援課を通して移住相談があった数）

情報元（西之表市役所地域支援課　地域おこし協力隊　遠矢さん）

同級生へのアンケート

Q 将来種子島内帰ってきたいですか

【いいえの理由】
・仕事が少ないから。
・娯楽施設が少ない。
・交通機関が少ない。



【はいの理由】
・子育てを種子島でしたい。
・老後は地元でゆっくり過ごしたい。
・自然豊かで落ち着くから。
・親の介護がしたいから。

問題点

- 仕事が少ない
- 商業施設が少ない
- 未成年が遊べる施設が少ない
- 若い世代（特に高校生～大学生）が少ない
- 交通機関が少ない

種子島の武器

- 自然が豊か
- 人と人とのつながりが強い

具体策①

自然を活かしたスポットを作る

具体策②

空き家を生かした施設を作る

具体策③

ホームステイ制度を作る

具体策④

島の高校生が観光客を案内する

ご清聴ありがとうございました